

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：笠置町

プロジェクト名	だれもが生き活きと住み続けられるふるさとプロジェクト	実施期間	H29年度～H30年度	テーマ	その他	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>笠置町は、日帰り温泉施設の「わかさぎ温泉笠置いこいの館」、カヌーやボルダリング体験、キャンプ場で有名な木津川河川敷、巨岩信仰の拠点であった笠置山や笠置寺、また桜やもみじなど、歴史・景観・自然・文化・スポーツ等の地域資源に恵まれている。しかしその魅力を十分に活かさず、近年は近隣の日帰り温泉施設の設置や新たな観光施策の展開等により、笠置町への入込客数の減少が課題となっている。</p> <p>また、まちづくりや地域活性化の原動力となる若年層の流出や少子・高齢化により、本町の人口は平成29年3月末では昭和22年のピーク時に比べて半数以下となる1,421人まで減少しており、農業や産業は後継者が不足し、雇用や観光交流など、地域活力が減退するなどの問題が顕著に表れている。</p> <p>これらの課題に対応するため、これまでも空き家対策事業、子育て支援事業や夏まつり等の観光イベント事業等様々な事業を実施し、移住促進や交流人口の増加等を目指してきた。</p> <p>さらに、昨年には国が推進する地方創生事業で、初のボルダリング青春映画「笠置Rock!」を制作した。これは、自分の住む町に誇りを持つきっかけになってほしいという想いで制作され、子どもからお年寄りまで町民約300人が撮影等に参加した。このように、若者から高齢者まで多世代の住民が集い交流する場を作り上げ、新しい雇用の創出等を図るとともに、地域の資源を活かし、新たな人材や産業の受入等により、まちの活性化をもたらす拠点や住民の暮らしを守る機能が集約した拠点を笠置駅周辺に集積し、魅力ある持続可能な地域の再生を行うことが必要だと考える。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>美しい自然と、史跡に恵まれた笠置町の魅力を改めて見直し町内外に発信するとともに、駅周辺地域の小さな拠点づくりの促進、町内観光名所や拠点と各集落間を連絡する公共交通ネットワークの利便性の向上や住環境整備等により、子どもから高齢者までが、世代を越えて交流できる住み良いまちづくり施策を総合的に実施し、人口流出の抑制、町外からの移住を促進し魅力ある持続可能な地域の再編を目指す。</p>						
	総事業費（千円）	24,324	本年度事業費（千円）	12,162	交付金額（千円）	5,984	
プロジェクトを構成する事業の平成29年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村	ボランティアコーディネーター設置事業	交付対象事業	住民に対してボランティアに関する情報提供等の実施 ・ボランティアコーディネーター設置補助(2,573千円)		福祉ボランティアふれあいまつりの実施(福祉映画の上映、「ボランティア活動・社協活動・ヘルパー活動」の報告、ミニバザー、ボランティアによるお茶・お菓子のサービス等。 ボランティアだよりの発行年12回 延8,400部		
	まちづくり支援事業	交付対象事業	各地区が行う町づくりのための地域コミュニティ活動事業への補助 ・まちづくり事業補助(1,187千円)		自らの地区をより良くしていくという意識の向上。 申請・許可件数：南部区1件、切山区1件、北部区1件、西部区1件、東部区2件 計7件		
	子育て支援事業	交付対象事業	子育て支援に係る補助事業の実施 ・学校給食費補助(1,012千円)、修学旅行費補助(48千円)		学校給食費補助対象児童：27人 修学旅行費補助対象児童：5人		
	母子手当支給事業	交付対象事業	18歳までの子どもを養育母子世帯に1千円/月支給 ・母子手当(131千円)		10世帯13人に支給		
	高齢者福祉計画・介護保険計画策定業務	交付対象事業	地域包括ケアの一層の推進を念頭においた平成30～32年度を目標年度とする「笠置町高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画」を策定を行う。 ・介護保険計画策定業務委託(2,527千円)		平成30年度～32年度を目標とする高齢者福祉・介護保険に係る事業計画を策定したため、事業の指標となる。		
	障害者基本計画策定業務	交付対象事業	障害を持つ方にやさしいまちづくりの推進を図るため「障害者基本計画」を策定する。 ・障害者基本計画策定業務委託(1,296千円)		障害を持つ方へのまちづくりに関する計画を策定したため、今後の事業の指標となる。		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：笠置町

町内 実施事業	敬老会事業	交付対象事業	敬老会事業補助及び傘寿、喜寿、90歳以上の老人に記念品を支給 ・敬老会記念品（250千円）、地域老人生きがい対策（375千円）	敬老会招待者398人のうち参加者123人。 92人の方に記念品贈呈。 笠置小学校児童による発表や芸人によるショーを実施。
	サライトオフィス整備事業	交付対象事業	サライトオフィスに事務用机等整備し、起業誘致を促進させる。 ・サライトオフィス整備工事（485千円）	空き家1件をサライトオフィスとして整備
	木津川河川敷モデル体験事業	関連事業	民間企業と連携して、モデル的にアウトドア体験企画を実施	旅行会社と外国人留学生に笠置町のモニターツアーという形で河川敷を中心とした笠置町観光を体験してもらった。そこから得られたデータを以て、河川敷がメインとなる観光整備へとつなげることができる。
	インバウンド消費戦略事業	関連事業	海外からの誘客を図るため、観光プロモーション等を展開し町の観光支援を実感していただき、有効な資源活用を検討し、新たな観光商品の開発に繋げる。	旅行会社と外国人留学生より、笠置町の観光を体験してもらい、そこから着地型観光の評価と課題を得た。今回得られたデータを精査することで、外国人向け観光事業の足掛かりとできる。
	空き家バンク	関連事業	町内の空き家の有効活用を図り、地域の少子高齢化の軽減及び過疎化の解消を促し、若年層の定住化や町内人口の増加、地域活動の維持、活性化に寄与する。	29年度空き家登録2件 29年度空き家バンク利用希望者新規9名
	笠置町農村移住促進事業	関連事業	笠置町への移住促進を推進するため、受入組織づくりや空き家改修等の事業に要する経費を支援	笠置町へ移住するための空き家改修事業への助成0件
住民 協働 事業	地域福祉推進事業	交付対象事業	見守り活動によりお届けする配食サービス、地域住民交流の場としてのふれあいサロン等の実施 ・地域福祉推進事業補助（233千円）	75歳以上のひとり暮らし、高齢者世帯の方への配食サービス(利用者25人 延502食) 65歳以上の方を対象に、いきいきふれあいサロンの実施(参加者延506人) 高齢者の生きがい対策として書道教室やちぎり絵教室等の実施(参加者延492人)
	観光誘致・宣伝事業	交付対象事業	まちの観光宣伝及び観光客の誘致を行っている観光協会(観光笠置)の活動に対し補助等する ・笠置町観光協会補助金(900千円) ・観光協会草刈り委託(540千円)	観光振興をすすめるため、各種事業の企画、立案、運営にあたる。 29年度では、笠置山清掃事業、桜ライトアップ、夏まつり、伝統的行催事、映画祭、鍋フェスタ及び駅前飾付委託事業等を実施。 河川敷草刈り8,000㎡
	観光誘致・イベント事業	交付対象事業	一年を通じて観光イベントを実施し、笠置町の魅力を宣伝するとともに、交流人口を増やす。 ・さくらまつり(40千円) ・もみじまつり(565千円)	11月1日から30日の間 笠置寺境内にある「もみじ公園」のライトアップを行う。 期間中の入込客数：2,569人
	福祉バス運行事業	関連事業	JR笠置駅と町内6集落を結ぶバスの運行	乗車人員：15,620人/年
	観光誘致・イベント事業	関連事業	四季折々に実施する観光イベントを通じて、笠置町の魅力を発信するとともに、交流人口を増やす。	夏まつり：9,000人 鍋フェスタ：15,000人
	アウトドア観光プロモーション事業	関連事業	笠置の魅力や、昨年度制作した「笠置ROCK!」の上映を通じて笠置町を広く周知させる。	東京都昭島市で開催の「スポーツ&アウトドアフェスタin昭島」において、スポーツ庁長官・笠置町長・映画監督・出演者による映画の舞台挨拶及び上映を実施。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：笠置町

成果指標①	成果指標の目標数値	笠置町の空き家への移住 H28:2組 → H30:4組（2年間）		成果指標の実績値 （平成30年3月31日時点）	H29:3組
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	目標数値を達成したため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標②	成果指標の目標数値	観光入込客数 H28:261千人 → H30:270千人		成果指標の実績値 （平成30年3月31日時点）	H29:223千人
	成果指標の達成状況	△	（左の理由）	8月～10月の台風により、キャンプ・ハイキングのできない時期が発生したことにより目標数値を下回ったため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	福祉バス運行事業（JR笠置駅と町内6集落を結ぶ）等の交通ネットワークの維持に向けた取り組みは、交通分野の課題解決にとどまらず、町づくり・観光さらには、健康・福祉・教育及び環境等の様々な分野で大きな効果をもたらすものであり、子どもから高齢者までを対象とした各種の支援策を通じて、高齢者等に優しい町づくりを進めるとともに、JR笠置駅の無人化対策事業により観光笠置としてのイメージダウンの回避にもつながった。また、「鍋-1グループ」「さくらまつり」「もみじまつり」など四季折々の笠置町の魅力を発信するとともに、住民も参加して作り上げた映画「笠置ROCK!」を東京で上映するなど、外部へも発信を行い、今まで以上に笠置町を広めることとなった。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	外部への魅力発信に力を入れたことことで、空き家バンク利用希望の新規登録者が9名となり、イベントにおいても来客数の増につながり、特に冬の鍋フェスタでは15,000人と大幅に集客効果がみとれた。			
	府と市町村等との連携に資する成果	府と町の制度を併せることにより、医療助成体制や移住促進体制の強化が図られた。また、地域イベント助成事業の活用が図れた。			
	住民の自治意識を高める成果	各種イベントや活性化事業を通じて、住民が笠置町の魅力発信を目にする機会が増えるとともに、直接携わる機会も増えたことにより、笠置町を見つめなおす意識が高まった。			
	リーディング・モデル成果				
	広域的波及成果				
	行財政改革に資する成果				
	その他の成果				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：笠置町

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：笠置町

プロジェクト名	笠置町安心・安全まちづくりプロジェクト		実施期間	H29年度～H30年度	テーマ	安心安全	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>当町は、町面積の約80%を森林が占め、町内には土砂災害警戒区域が多数存在しており、集落はそれに合わせる形で形成されている。そのため自然災害に見舞われることも多く、町全体の危機に直面することになる。また、近年では地震による被害の増加や、台風や局地的な大雨により全国各地で豪雨被害等もたらされている。</p> <p>当町においても、横断する様に流れる木津川の増水により国道163号は、平成25年度には冠水し通行止めとなり、平成26年度は冠水間近まで増水という状況となるなど、住民は常に災害と隣り合わせの生活を送っている。</p> <p>全国的に自然災害が多発しており、災害に対して積極的な対策が必要で、常日頃から各方面で防災面の強化を図ることや、消防団など災害時に活動する機関への支援も求められている。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	『自助・共助・公助』を進めるためにも防災体制の構築により、住民のみならず観光客等の安心安全を守り、災害に強いまちづくりを目指す。							
	総事業費（千円）	11,223	本年度事業費（千円）	11,223	交付金額（千円）	4,989		
プロジェクトを構成する事業の平成29年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	防災行政無線整備事業	交付対象事業	防災行政無線の戸別受信機購入並びに町内集落をカバーした屋外局等の整備及び保守点検等を実施する。 ・戸別受信機購入費（1,944千円） ・防災無線保守管理委託（1,134千円） ・防災行政無線UPS、屋外局等バッテリー更新（1,058千円） ・防災行政無線アンテナ整備修繕（530千円）			防災行政無線整備50台購入 各無線機器修繕・更新済み		
	AED機器購入事業	交付対象事業	公共施設設置のAED機器を購入（548千円）			2台購入済み		
	休日応急診療所設置事業	交付対象事業	日曜日や祝祭日などの休日に比較的軽症な方を対象とした応急的な診療をする初期救急を目的とした診療所を開設する。構成市町村として負担金が発生します。 ・広域域事務組合分担金(休日応急診療所分1,336千円)			相楽会館内に休日応急診療所を設置 年間開設日：70日		
	特定個人情報取扱状況点検業務	交付対象事業	個人情報の取扱状況を点検し、改善することで情報の紛失・漏洩、情報システムの停止による損失被害を防ぎ住民の安心・安全を図る。 ・特定個人情報取扱状況点検業務（2,916千円）			個人情報の取扱い状況や管理の必要性を職員に再認識させることで、情報の紛失・漏洩や情報システムの停止による損失の防止に繋げることができた。		
	指定避難所等の施設強化事業	交付対象事業	災害時における住民の生命等を守るため防災対策として、避難施設等の改修を行う。 ・指定避難所等の修繕事業（1,052千円）			対象施設の改修を行い、避難施設の機能を向上させた。		
	消防用資機材等購入事業	交付対象事業	地域防災力の向上と防災意識の高揚を図るため消防用資機材等の整備を図る。 ・消防用資機材購入（204千円）			消防用ホース4本、消火栓ホール5本の整備		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：笠置町

住民協働事業	消防団活動事業	交付対象事業	地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っている消防団活動に対して補助する。 ・消防団活動補助（500千円）	消防団活動服（上：4着、下：8着）、ヘルメット（3着）、活動靴（9足）、蛍光棒（13点）、消火栓開閉ポール（7本）等の整備
	消防団防火啓発活動事業	関連事業	消防団の町内全戸訪問による火災予防啓発活動の実施	消防団防災訓練後に町内全世帯を廻り、「住宅火災警報器設置」、「住宅防火」の啓発チラシの等配布
	交通安全啓発活動	関連事業	街頭啓発等の実施	春と秋の全国交通安全運動に併せて街頭啓発の実施：（JR笠置駅、主要国道沿い）
	防犯啓発活動	関連事業	青色回転灯搭載車による町内巡回の実施	青色回転灯搭載車で、町内パトロールや活動をすることで、防犯対策の強化が図られた。
	水難防止パトロールの実施	関連事業	京都府警察音楽隊&カーガード隊、平安騎馬隊及び町民による木津川水辺パトロールによる啓発活動の実施。	木津警察署、相楽中部消防署、笠置町消防団、地域住民が参加。町内パトロールや消防署員による水難の実体験の講和による水難防止の強化が図られた。
成果指標①	成果指標の目標数値	災害による死亡者数 H28：0人 → H30：0人		成果指標の実績値 （平成30年3月31日時点） H29：0人
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	目標数値を達成したため
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	（時期）
成果指標②	成果指標の目標数値	町内火災件数 H28：1件 → H30：0件		成果指標の実績値 （平成30年3月31日時点） H29：2件
	成果指標の達成状況	△	（左の理由）	風の強い日若しくは乾燥した日による野焼き火災が発生。
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	（時期）
成果指標③	成果指標の目標数値	水難死亡事故 H28：1件 → H30：0件		成果指標の実績値 （平成30年3月31日時点） H29：0件
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	目標数値を達成したため
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	（時期）
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	避難所施設の改修を行うことで、施設強化を図れ、防災行政無線の適切な改修により安定した運用を果たしている。また、休日応急診療所設置事業では、休日に比較的軽症な方を対象とした応急的な診療をする初期（一次）救急の整備を図ることができた。併せて、住民協働事業で実施した消防団活動事業、防火啓発活動事業、防犯啓発活動並びに交通安全啓発活動事業を通じて、住民の安全意識の向上を図ることができた。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：笠置町

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	消防団啓発活動では、年に1度消防団員が町内全世帯を廻り火災予防を呼びかけるチラシを配布（「住宅火災警報器設置」「住宅防火」について）することによって住宅に対する火災予防意識の向上を図ることができた。また、交通安全啓発活動では、交通安全対策協議会とともに年2回の街頭啓発活動（JR笠置駅前、主要国道沿い）や啓発のぼり旗の掲出の実施、防災行政無線での啓発等により安心・安全な町づくり事業に寄与している。
	府と市町村等との連携に資する成果	
	住民の自治意識を高める成果	住民協働事業で実施した町づくり補助事業を通じて住民自治意識の向上が図れた。
	リーディング・モデル成果	
	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	相楽休日応急診療所は、相楽郡広域事務組合（木津川市・笠置町・和束町・精華町及び南山城村）において共同設置をした。財政状況の厳しい当町において単独では対応の難しい事業だが、広域事務組合で取り組むことで経費負担の削減に繋がるとともに、住民の安心安全を確保することができた。
	その他の成果	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。